

<主な取り組み>

1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり

地域の特色を生かした観光の魅力づくりを進めるため小田原城跡の馬出門(榊形石垣南側の復元)、街かど博物館(塩から伝統館の整備)、箱根関跡(足軽番所、江戸口御門の復元)など歴史的・文化的観光資源の整備を行いました。

また、真鶴半島のお林展望公園やおだわら諏訪の原公園(早期開園区域)など自然とふれあえる公園の整備を行いました。

海外からの観光客の誘致を促進するため、外国人もてなし講座事業の実施やもてなしハンドブックの作成など外国人旅行者受入れ体制の充実に努めました。

2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり

コミュニティビジネスなどの創業支援を推進するためおだわら街なか起業家支援センターを開設しました。また、「海の再生と魚の食文化の創造」をテーマとした、第25回全国豊かな海づくり大会神奈川大会小田原地域大会を開催し、食と水産業の理解促進に努めました。

県西地域の広域交流拠点である小田原駅周辺については、東口駅前広場の整備が完了し、今後はお城通り地区再開発や城下町ホールの整備などに取り組んでいきます。

3 交流・連携を支える道路網などの整備

西湘地域の骨格路線となる小田原環状道路や酒匂縦貫道路の整備を進めるとともに、地域における農作物の流通の改善などを図るため、広域農道・小田原湯河原線の整備に取り組んでいきます。

また、自然災害に強いまちづくりを進めるため、小田原海岸の防潮扉の整備や勘三郎沢などの砂防施設の整備に取り組むとともに、凍雪害対策の強化として箱根湖尻地区に除雪基地の整備を進めました。

<課題と今後の対応方法>

国内外からの観光客の誘致を促進するため、歴史、文化、自然などの観光資源の整備に努めるとともに、外国人旅行者受入れ体制の充実や観光PR・観光情報の効果的な提供などに取り組んでいきます。

地域の交流拠点にふさわしい市街地の魅力と活力を再生するため、お城通り地区など小田原駅周辺の整備に取り組むとともに、新たな企業誘致をめざします。

多様な交流・連携を支えるため、交流幹線道路網などについては、順次整備を進めていきます。



箱根関跡・江戸口御門復元



小田原駅東口駅前整備

地区の数値データ(指標)

○入込観光客数

(暦年)(単位:千人)

	2002	2003	2004
日帰り	23,817(17.5%)	24,698(17.7%)	24,037(16.4%)
宿泊	5,939(46.2%)	5,878(45.8%)	5,814(44.8%)
延べ	29,756(20.0%)	30,576(20.1%)	29,851(18.7%)

〔神奈川県入込観光客調査報告書〕
(神奈川県観光振興対策協議会)より作成

○外国人入込観光客数

(暦年)(単位:人)

	2003	2004	2005
箱根町・宿泊	52,441	69,325	71,794

(「箱根町調べ」より作成)

○小売業の年間商品販売額

(暦年)(単位:億円)

	1999	2002	2004
	3,256(3.6%)	3,192(3.8%)	3,006(3.6%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成)

○事業所数

(単位:事業所)

	1991	1996	2001
	14,739(4.6%)	14,713(4.5%)	13,684(4.4%)

(「事業所・企業統計調査(総務省)」より作成)

○中心市街地流動客数

(単位:人/日)

	2003	2004	2005
	114,216	130,544	154,175

(「小田原市主要商店街流動客調査」より作成)

※2003年は、小田原駅東西自由通路における流動客数は除く。

○都市計画道路の整備率

(単位:%)

	2003	2004	2005
	64.2	64.7	65.0

(「都市計画課調べ」より作成)

※()内は全県に占める割合